



NPOみらい倶楽部

地域活性化と魅力あふれるまちを目指して

NPOみらい倶楽部とは？

生きがいのある場づくりと地域貢献を目的に、勤めていた会社やボランティア活動でつながりのある人同士の13人が集まり、NPO法人として令和3年1月に設立しました。「おもちゃ病院(おもちゃ修理)」、「紙芝居等の口演」、「地域の清掃活動や植樹を通じた世代間・国際交流」、「農業体験」、「健康ウォーキング」などを開催し、子供からお年寄りまで参加できるコミュニティづくりを推進しています。

副代表の北島さんは、「長年培ってきた経験と叡智を地域や住民のために生かしていきたい」と話していました。

地域貢献活動について

11月に開催した「第1回菅生沼遊歩道を歩こう!」では、子供からお年寄りまで41名が参加し、秋晴れの中、菅生沼周辺を回るコースを満喫しました。この企画は、当地の菅生沼を舞台とした「白妙姫しろたえひめ」の紙芝居口演や歩きながらコース周辺のゴミ拾いを行うなど、郷土愛を育むきっかけにもなっています。

また、10月からは、毎月最終土曜日に保育園などで「おもちゃ病院」を開設し、壊れてしまったおもちゃを会員が無料(一部有料)で修理しています。子供たちの好奇心や想像性を育み、モノの大切さを再認識できるきっかけづくりになっています。現在、おもちゃを修理できるドクターを増やすため、おもちゃドクター養成講座も実施しています。

さらに、地域の防災活動や災害時の支援として、消防署の救命講習を受講し、人工呼吸やAEDの使い方など非常時に備えた活動も実施しています。

目指すまちのすがた

これまでの経験を生かし地域で活躍できる場を提供することで、地域に貢献できる人材の育成を進めていきます。また、活動内容はホームページ「NPOみらい倶楽部」の中で随時情報を発信し、地域住民の方々が参加できる機会をつくっていきます。

今後は、在住外国人との交流や子供農業体験など活動の幅を広げ、国籍を問わず子供からお年寄りまで健康でいきいきとした生活を楽しみ、いつまでも住み続けられるまちを目指します。

団体概要

団体名：NPOみらい倶楽部

代表：坂 和生

ご興味のある方は、メール(info@npomiraiclub.org)までご連絡ください。



開院されたおもちゃ病院

◆問い合わせ = ☎市民と共に考える課(内線2110)

豊岡小学校ゆるキャラ「とよっこ」誕生!

12月16日、豊岡小学校で「ゆるキャラ」の発表と児童の表彰が行われました



優秀賞を受賞した皆さん

豊岡小では、長引くコロナ禍の影響で様々な学校行事が中止や変更となる中、創立135周年を記念した思い出づくりにと、ゆるキャラのデザインを児童から募集しました。応募作品の中から、教員、PTA、教育振興会の各代表者と児童の実行委員による審査、全児童の投票により、5年生山口結愛さん(写真右から3人目)の「とよっこ」が最優秀賞に選ばれました。「校章をイメージしたやさしくがんばりや」というキャラクターがコロナ禍の学校生活や児童の活動の盛り上げ役として活躍してくれると思います。

常住人口のうごき(令和3年12月1日現在)※()内は前月比
 男30,200人(-36)/女30,103人(-29)/合計60,303人(-65)
 外国籍住民5,570人(-6)/世帯数22,675世帯(+14)

今月から令和2年度の国勢調査を反映しています。増減が、広報常誌2021年12月号と一致しない場合があります。

